

タイトル	6 . 自分の強みをアピールする
------	------------------

ねらい 成果	就職や進学に当たって、動機や自分の長所や趣味・特技、学校生活や日常生活の体験の中から自分の強みを理解し、面接の場でアピールする体験をする。
-----------	---

	時間	ねらい / 目標	活動内容 / 問い フリット 形態 手法
1	05	前回のふりかえりをする。	フリット 『voice』 (1)出席を取る。 (2)前回のワークをふりかえる。 ・経済の仕組みがよくわかった。ふりかえりができたら。
2	15	デモンストレーションをする。	フリット 『こうして面接を進める』 (1)本時の内容を説明する。 (2)生徒を受験者に指名し、教師が面接官になって、デモンストレーションをする。 (3)教師が受験者になり、生徒から面接官を募集して、デモンストレーションをする。
3	05	アピールポイントを説明する	フリット 『何をアピールするか』 (1)社会が求める能力を説明する。 (2)自分のセールスポイントを説明する。
4	15 + 15	自分の動機、長所、趣味・特技、学校生活の経験、日常生活の経験を探る。	フリット 『就職や進学の動機をウェビングする』 『自分の長所をウェビングする』 『自分の趣味や特技をウェビングする』 『学校生活の経験をリストアップする』 『日常生活の経験をリストアップする』 『面接メモを作る』 (1)各自で書けるものから記入させる。 (2)2人組で互いにインタビューして情報を引き出す。 (3)ウェビングやリストアップを参考に、箇条書きで面接メモを作る。
5	30	模擬面接をする。	形態 4人組

			<p>プリント 『こうして面接を進める』『面接質問シート』『面接評価シート』（1人3枚）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)進め方を説明する。 (2)質問内容と答え方について説明する。 (3)4人組になる。 (4)場を設定する。 (5)順番を決める。 (6)3分間で面接をする。（入退場は省略する） (7)『面接質問シート』を参考にして、マニュアルに従って質問をする。 (8)面接メモを参考にして答える。 (9)面接官は『面接評価シート』を記入する。 (10)受験生に渡し、コメントする。 (11)交代してする。
7	05	本時をふりかえる。	<p>プリント 『ふりかえりシート』</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)本時のふりかえりを書かせる。 半分以上書くこと。

準備	<p>『こうして面接を進める』『何をアピールするか』『就職や進学の動機をウェビングする』『自分の長所をウェビングする』『自分の趣味や特技をウェビングする』『学校生活の経験をリストアップする』『日常生活の経験をリストアップする』『面接メモを作る』『面接質問シート』『面接評価シート』（1人3枚）</p>		
----	--	--	--

Voice

6. 自分の強みをアピールする

6月16日

生徒の満足度

満足度	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
人数	6	3	8	3	2	2	0	0	0	0

生徒の感想

①自分をアピールするのはとても難しい。自分の長所を見つけるだけでもだいぶ時間がかかった。
②ほとんどの質問に答えられたが2つほど時間がかかった。いろいろな質問を考えて答えられるようにしようと思った。見た目ですごく大切だと思った。話し方、態度、相手を見て話すこと、慣れれば良いと思った。③模擬面接だったけどかなり緊張しました。これが本番だったら全然あかんと思った。頭の中で言いたいことをはっきり言うのは難しいなと思いました。面接官も質問するのに関連することを相手に問うのは難しいと思いました。④思った通りの質問が来るわけではないので、変な緊張感があったような気がする。面接官も聞く質問を考えるのが簡単にはできないから難しい。⑤やってみると案外苦手じゃないなと思った。何を聞かれても結構言葉が出てくるし、あまり恥ずかしさもなかった。⑥どの質問にでも答えられるようにある程度の広がりを持たせて準備したのだが、まさか同じ質問が来るとは思わなかった。⑦言葉遣いをもっと気をつけないといけないと思った。あと態度も悪いし、途中から友だちと喋っているみたいになってしまった。面接官をして、ハキハキ喋る人の方が印象よく見えた。⑧態度に気をつけて言葉はハキハキするように気をつけて面接できました。面接官になってみて、同じ質問でも一人一人工夫して答えていて、いろいろなことがわかった。⑨みんな良いことを書いてくれてうれしかった。面接官になってみて、自分が面接する時の面接官の気持ちが少しわかった気がします。今の自分の進路のことを考えられたので良かったと思います。⑩質問されて全然わからないから素直になるのはいいけれど、下調べとかしないといけないと思った。⑪自分の長所を見つけるのは難しかったけど、自分が受験生になって人の話を聞くと、自分の長所も見つけれられた。どんなことを聞いたらいい答えが返ってくるか考えるのも面白かった。⑫夢を持っている人はカッコいいなと思った。もっと自分のことをちゃんと考えていかんとあかんと思った。⑬人前で話すのって緊張するし恥ずかしいかった。みんなコメントを書いてくれてうれしかった。褒めてくれた所はもっと伸ばして、良くないといってくれた所は直していきたいと思います。⑭言いたいことがあってもちゃんとした言葉として出てくるのに時間がかかった。面接中にどうしても時間が空いて「あー」とか「えーと」とか言ってしまった。⑮他の人が考えていることがしっかりしすぎていて少し不安になりました。日頃から自分をアピールすることの大切さを知りました。⑯目を見て話していると緊張感が少しなくなり、リラックスして答えられることがわかった。⑰自分のやりたい将来の進路について改めて考えさせられた。

教師の感想

前回の貿易ゲームはエキサイトな授業だったのに対して、今回の授業は自分について洞察する静かな授業だったので心配だった。感想の中にも貿易ゲームの方がよかったというのがあった。しかし、こういうしっかり自分を見つめることも必要である。過激なゲームの危険性はこうした所にもある。それでも、今回はじっくり腰を据えてやろうと思っていた。途中で、ポジティブインタビューなどを入れて変調してみたり工夫もした。こうした授業でしっかり考えられるようになると、本当に力がつくし、この授業の本当のねらいも達成できる。特に今回はキャリア教育として重要なものであり、進路について改めて考えてくれた生徒が多くいて、成功だったと思った。